

令和5年度 洲本市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員:1名

2 認知症地域支援推進員の役割:

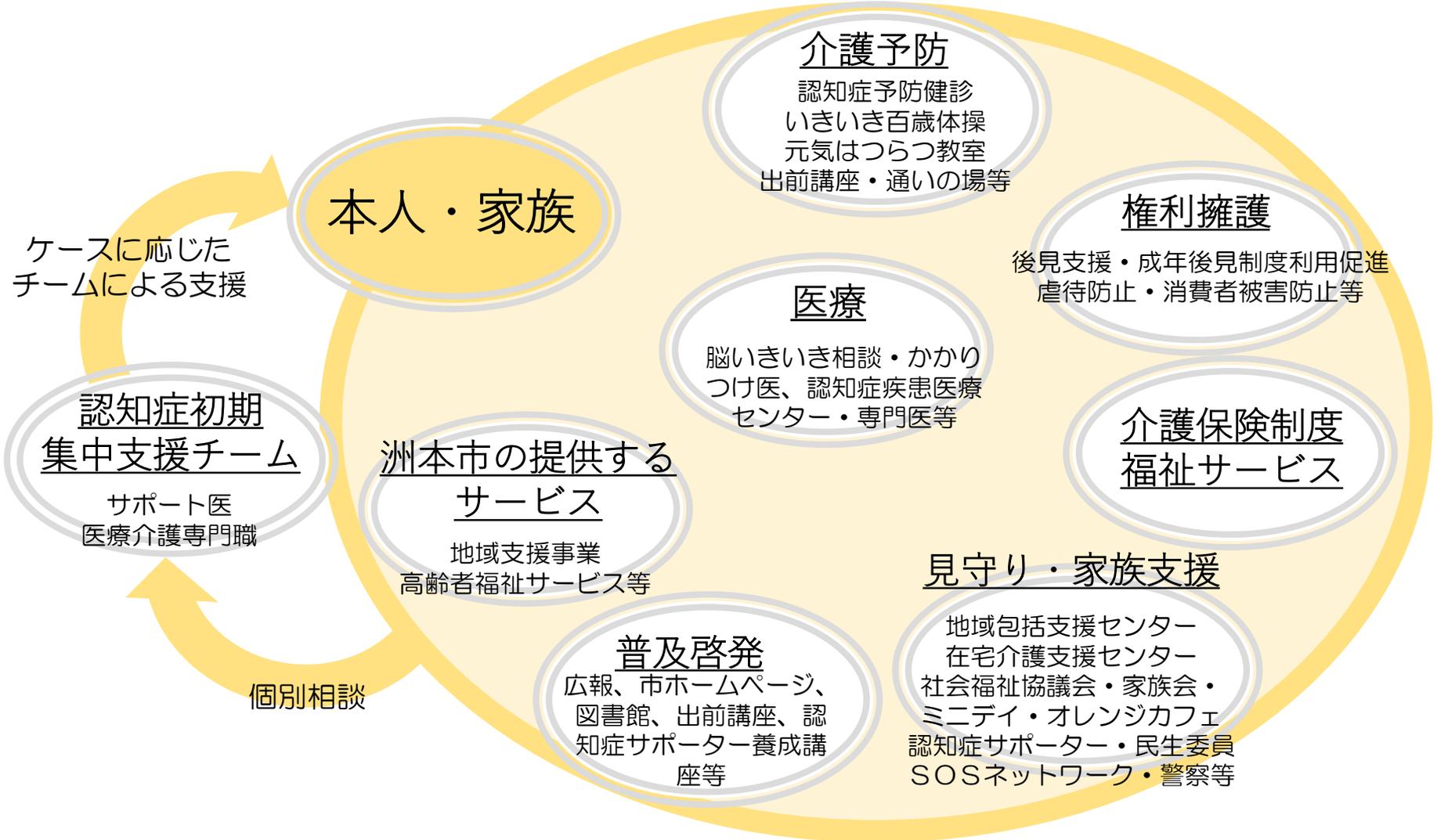
共生と予防の観点から認知症予防・早期発見の推進とともに、認知症地域支援ネットワークの強化、家族介護者の支援

- すもとオレンジライフサポート(認知症ケアパス)の普及啓発
- 認知症の相談窓口の普及啓発
- 認知症初期集中支援チームによるサポート
- 医療・介護との連携の推進
- 本人・家族支援
- 認知症地域支援ネットワークの強化

報告者氏名:洲本市地域包括支援センター :岡田 香苗
洲本市介護福祉課長寿支援係長:安東 美鈴

【洲本市】認知症施策全体図

すもとオレンジライフサポートに沿って、認知症の状態に応じた支援や医療・介護サービスにつながることのできるようサポートしています



洲本市におけるチームオレンジ立ち上げ支援

< R 2 ~ 4 年度の活動 >

認知症サポーター交流会 3回開催
日頃の活動や思いを情報交換、認知症の方への対応についてキャラバンメイトと共に勉強会を実施。

令和4年11月 認知症サポーターステップアップ講座開催

どんな活動をやりたいか？チームオレンジ登録者に思いを聞くと・・・

今も地域でボランティアしている。身近な地域で見守り活動したい。



デイサービス事業所より話し相手ボランティアの希望があり、マッチングを試みるが、コロナ禍の中、受け入れ困難な状況も重なり、1人しか活動できなかった。

まずは相手の
気持ちを受け止
めることが大切



認知症サポーターステップ
アップ講座の様子

＜R5年度からのチームオレンジの活動の方向性について＞



＜担当者の思い＞
洲本市のチームオレンジ活動は、地域の人々が地域の人を見守り支える地道な活動を大事にしたい！

キャラバンメイト連絡会で情報共有、今後の推進について検討。

- ①チームオレンジのメンバーを増やすため、今年度も継続してステップアップ講座を開催していく。
- ②地域の誰でも気軽に立ち寄って話したり、相談できる場所、チームオレンジのメンバーが情報交換できる場所として拠点づくりをしていく。

<R5年度活動経過>

①令和5年度ステップアップ講座開催

②オレンジランプ(映画)上映会に参加

③チームオレンジ活動拠点の選定

バス停が近く自分で行きやすい場所、集まれる部屋がある、バリアフリーの設備等条件を考慮。開業医の旧クリニック施設の貸与に向け、趣旨説明、協力依頼。

④認知症を支える家族の会と協力し、拠点準備

(清掃、必要物品の準備等)

⑤R6年4月からの活動に向けて、準備会を開催

拠点のネーミング、チラシの作成、PR方法等について検討。



＜令和6年度活動＞

令和6年4月、第1回「おれんじランプごしき」開催。
チームオレンジメンバー、地域のサロンメンバー、認知症家族会のメンバーが参加。

勉強会を期待してきたのに、おしゃべり会なのか？

代表は誰がなるのか？

サポーター養成講座を開催し、この場のことを知ってもらいたい。

知人を誘いたいが、チラシは認知症が前面に出ているので、声かけにくい。



チームオレンジ立ち上げ支援中での課題

- ・メンバーの中で、目的やイメージにバラツキがある。
- ・自分たちが活動の主体とっていない。
- ・認知症に対する偏見が強い地域性がある。

今後の方向性

チームオレンジメンバーや認知症サポーター、キャラバンメイト、関係者とめざす方向性をその都度確認し、チームオレンジでやりたいことを楽しみながら活動していけるよう支援していきたいと思います。